

退院後の介護準備に関する確認事項

準備カテゴリー	確認・準備事項	担当/相談先	完了
医療管理	退院後の病状・注意点、処方薬（種類・量・服薬方法）、在宅医療（酸素、吸引等）の要否、定期通院の予定、緊急時の対応方法	主治医、看護師、薬剤師	<input type="checkbox"/>
日常生活支援	食事（形態、介助）、入浴（方法、頻度）、排泄（トイレ、おむつ）、着替え、移動・移乗の介助レベル	ケアマネジャー、家族	<input type="checkbox"/>
住環境整備	手すり設置、段差解消、滑り止め、照明、ベッド・布団、ポータブルトイレ、浴室・トイレ改修の要否	ケアマネジャー、福祉用具専門相談員、工務店	<input type="checkbox"/>
介護サービス	訪問介護、訪問看護、訪問リハビリ、通所介護（デイサービス）、短期入所（ショートステイ）等の利用検討と手配	ケアマネジャー	<input type="checkbox"/>
福祉用具	介護用ベッド、車いす、歩行器、杖、シャワーチェア、ポータブルトイレ等の選定とレンタル・購入手配	ケアマネジャー、福祉用具専門相談員	<input type="checkbox"/>
家族の支援体制	主な介護者、役割分担（日中・夜間、平日・休日）、緊急時の連絡体制、介護者の休息確保策	家族会議	<input type="checkbox"/>
その他	介護保険被保険者証・負担割合証の確認、医療費・介護費の支払い方法、本人の意向（生活リズム、趣味など）の再確認	ケアマネジャー、家族	<input type="checkbox"/>

介護休業と介護休暇の比較

項目	介護休業	介護休暇
目的	要介護状態にある家族の継続的な介護	家族の通院介助、介護サービス手続き、短期的な突発的介護など
取得可能日数	対象家族1人につき通算93日まで（3回まで分割可）	対象家族1人につき年5日、2人以上で年10日まで
取得単位	原則として1日単位	1日単位または時間単位
賃金	原則として無給（ただし、介護休業給付金の対象）	法律上の定めなし（会社の規定による。無給の場合が多い）
給付金	介護休業給付金（雇用保険から）	なし
申請時期	原則、休業開始予定日の2週間前までに会社へ	当日の申し出も可能（会社の規定による）

緊急時の連絡先リスト

連絡対象区分	連絡先名・機関名	電話番号（優先/代替）	伝えるべき主要情報	連絡タイミングの目安
救急	119番		患者氏名、場所、意識・呼吸の有無、現在の症状、持病、かかりつけ医、服用中の薬（お薬手帳）	最優先
かかりつけ医			患者氏名、現在の症状、救急搬送の状況（搬送された場合）、指示を仰ぎたい内容	救急隊の指示後、または直後
家族（キーパーソン）			現在の状況の概要、必要な協力（病院に来てほしい、医療判断の相談など）	状況に応じて速やかに
地域包括支援センター			状況の概要、今後の介護サービス利用に関する相談	落ち着いてから、または事前

## 終末期ケアに関する話し合いを促すための質問リスト

質問カテゴリー	具体的な質問例
日常生活について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたにとって「良い一日」とはどのような日ですか？</li> <li>・毎日続けたい習慣や楽しみはありますか？</li> <li>・食事について、好きなものや苦手なもの、希望する介助方法がありますか？</li> </ul>
医療判断について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延命治療（人工呼吸器、胃ろうなど）について、どのように考えていますか？</li> <li>・どのような状態になったら、積極的な治療を望まないと考えますか？</li> <li>・痛みの緩和について、何か希望はありますか？</li> </ul>
療養場所について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できる限り自宅で過ごしたいですか？その理由は何ですか？</li> <li>・もし施設に入所する場合、どのような雰囲気やサービスを重視しますか？ （例：リハビリが充実、個室、レクリエーションが多いなど）</li> </ul>
意思決定について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もし自分で判断できなくなった場合、誰に自分の代わりに判断してほしいですか？ （代理意思決定者）&lt;br&gt;・その人に伝えておきたいことはありますか？</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族に迷惑をかけたくないという気持ちはありますか？具体的にどのようなことですか？</li> <li>・宗教や信条に関する希望はありますか？</li> </ul>

緊急時に備えて準備しておくべき持ち物

カテゴリー	具体的な品目	個数/量	備考（使用期限、保管場所など）
重要書類	健康保険証コピー、介護保険証コピー、お薬手帳、緊急連絡先リスト、医療情報サマリー、事前指示書コピー（あれば）	各1部	定期的に内容更新
常用薬	服用中の薬（全種類）	3～7日分	使用期限確認、処方変更時は入れ替え
医療補助具	予備の眼鏡・老眼鏡、補聴器と予備電池、入れ歯と洗浄剤・ケース	各1組	
衛生用品	マスク、消毒液・ジェル、ウェットティッシュ、口腔ケア用品（歯ブラシ、歯磨きシート等）、大人用おむつ・パッド、清拭用品	適量	使用期限確認（特にウェットティッシュなど）
衣類	下着、靴下、着替えやすい服（ジャージなど）	2～3組	季節に応じて入れ替え
その他	タオル、ビニール袋（大小）、筆記用具、少額の現金（千円札、小銭）、携帯ラジオ、予備の杖（あれば）、カイロや冷却材	各適量	電池が必要なものは予備電池も
在宅ケアキット	救急セット、懐中電灯、非常食（ゼリー飲料、レトルト粥など）、飲料水、使い捨て手袋	各適量	目立つ場所に保管、定期的に中身と使用期限をチェック